



市民の力で設立され、支えられる

社会福祉法人 清水あすなろ福祉会

法人だより

福祉情報を発信します

風の子保育園・あすなろの家・ともの家

No.31 2023年4月20日
(令和5年)

静岡市清水区山原 871-2
Tel 054-363-2046
Fax 054-363-0522

23年度事業計画・予算を理事会で決定

3月25日に2022年度第8回の理事会が開催され、2023年度の法人本部及び各施設の事業計画・予算が承認、決定されました。(各施設は次ページ以降で紹介)

法人本部は役員体制・情報発信・危機管理などを確認

法人本部の事業計画では、理事会の役割と責任を改めて確認し、その上に立って中心的な取り組み課題が決められました。

役員体制は全員留任を評議員会に提案

法人を構成する役員体制では、今年度は理事改選の年に当たりますが、全理事留任として6月に開催される評議員会に提案することが決定されました。評議員は今年度非改選の年になります(任期3年)ので、現状に変更はありません。

役員報酬に関して、従来全役員無報酬で、会議出席時のみ費用弁償が行われていましたが、理事長についてのみ、その責任範囲の広さと重さから、いくらかでも理事長報酬を支払うことを評議員会に提案することが決定されました。



「法人だより」の役割を確認

情報発信については、法人だよりの役割が改めて確認されました。それぞれの施設情報を各施設間で共有する上での法人だよりの役割とともに、変化する社会情勢の中での福祉情報をできる限り発信することの大切さを確認しました。

危機管理委員会が重要課題としてハラスメント対応を検討

危機管理委員会では、災害対策への注力とともに、ハラスメント防止を法人各施設共有の重要課題として位置づけ、この問題を施設任せにすることなく、理事会として取り組むことを決定しました。ハラスメント問題では、一般的にセクハラが一番目立ちますが、それ以外にもパワハラやカスハラ(利用者やその家族からのハラスメント)、虐待など、表面には出にくい側面がありますので、それらを把握しやすい方法を考え、対策を強化していこうというものです。

理事会ではそのほか、各施設の就業規則について同一法人として三施設の就業規則における整合性の確認を進めることや「地域懇談会」を「あすなろ福祉会関係者懇談会」として継続開催すること、引き続き新入職員研修を開催することなどの方針が確認されました。

セクハラ・パワハラなど **ハラスメントは許さない!**

喫緊の課題として、法人と3施設が協力して対応します

『風の子のめざす子ども像』 に向かって

今年度は新入園児14名を迎え、園児100名からのスタートです。

私たちは、保育理念である『一人ひとりの育ちを大切にしよう』をもとに、

体・しなやかに動く体を育てる

心・物事を深く感じられる心を育てる

言葉・聞く、伝える言葉を育てる

感性・自分でやろうする力を育てる

乳幼児期はこの4つの育ちのバランスが大切だと考え、0歳児から5歳児までの子ども一人ひとりの育ちの確かめをしていきます。



2021年度より職員の入れ替わりや、コロナ禍の影響を受ける中、改めて『風の子のめざす子ども像』がどういふことなのかを職員で学び合い、共通理解としたうえで、保育へ繋げていくことです。

乳児保育から積み重ねて・・・

風の子の目指す5歳児の姿から、土台となる乳児保育において子どもの育ちの中で、何を積み重ねていくことが大事なのか、幼児保育に足りないことは何かを、子どもの姿から職員一人ひとりが立ち止まって考えて保育していくことをおこなっていきたいと思います。



子どもの姿から、「なぜ?」「どうしたかったのか?」「だからどうする?」を保育の中で繰り返し、子どもを捉え、理解することで、保育士として適切な言葉かけや関わり方を心掛けていきたいと思います。

専門性を高めて保護者支援も

その上で、保護者支援をおこなっていきたいと思います。そのためにも、私たち職員の専門性を高めていきたいと思います。職員一人ひとりが気づき合い、学び合い、認め合いの精神で職員の連携を深めながら、保育を創っていきたいと思います。

卒園式・・・卒園劇「スイミー」のお話しをみんなで楽しく演じました

三月二十八日、
みかん組二名が
卒園しました



一人ひとりが「保育園で楽しかったこと」と「大きくなったらなりたいこと」を語りました

一口メモ 静岡市：第2子保育料の完全無償化

※静岡市は、「しずおかハグくむ子育てプロジェクト」（愛称：しずハグ）を今年度から8年間の政策を打ち出しています。子ども・若者・子育て家庭を静岡みんなで支える2つの安心を掲げています。その中のひとつに経済支援として、所得制限なく「第2子保育料の完全無償化」が始まりました。現在定員割れしている保育園への入園にどのような影響を及ぼすか、動向を見ていきます。

あすな
ろの家



昨年度は、 7～8月の新型コロナクラスター感染終焉後に、台風15号被害にありました。想定外の事態が起こった中ではありましたが、あすなろの持ち前の団結力と明るさ、少しのあそび心で乗り越えることができたと感じています。

また、新しい職種（ライフサポートメイト）の導入に挑戦し、業務の分担・変更に取り組みました。

そして「繋ぐ」をワードとして、毎日人と繋がること、あすなろとして地域や新しい分野と繋がっていくことを意識しながら、事業を展開してきました。

令和5年は

明るい未来を拓くため「踏み出せ一歩！」

たくさん問題を抱える日本 ～ 未来に希望は…？



コロナ、大規模自然災害、物価高騰、戦争、人口減少問題…。

高齢化、少子化、社会保障費増大、空き家問題、限界集落問題、貧困問題、フードロス、介護離職…。

高齢化、少子化を起点としたたくさん問題を抱える私たちが暮らす現在の日本社会。

なんだか暗く重く、将来に未来に希望をもてるのか？

私はここ「老人ホーム」で働いているだけで、そんなこと関係ないし！ なのか…。

「地域になくてもならない存在に」

➡ もう一歩、存在意義を磨き上げたい

私たちは、あすなろの家で高齢者支援を主として活動を行っている。

私たちは、あすなろの家の活動を通して、どんな社会にしていきたいのか？

私たちは、あすなろの家の活動をすることで、社会にどんな影響を与えていきたいのか？

今までも「地域を元気にしたい」「地域になくてもならない存在になりたい」などの表現により発信は行ってきたが、

もう一歩、あすなろの家の存在意義を磨き上げたいと考える

それが、皆が希望をもてるキラキラな未来につながっていくように！



今年度のワードは 踏み出せ一歩！

ケア、接遇、繋がり、私たちが、自立支援介護、SHIGOTO、ハッピープラン、美味しいご飯、相談援助、ヘルパー訪問、安心の提供、ウォークラリー、笑顔の作り方… コロナ禍であっても、一生懸命繋いできたすべての物を磨き上げ、明るい未来を拓くための1年へ



アフターコロナ ～ 社会が動き出す

あすなろの家も 「さあ、踏み出せ一歩！」



生まれ育った地域で 自分らしく暮らすことの支援を

開設より34年が経過

年度初めに作成する事業計画は、設立時に掲げた「理念」達成を年頭に掲げ、障害のある仲間たちが生まれ育った地域で自分らしく生き、暮らすことの支援を具体化します。

令和5年度は、①仲間の暮らしの場（グループホーム）の安定的な運営。②18歳から63歳までの幅広い年齢層の仲間たちの個々のニーズに添うような、仕事や活動の内容と量のバランス、集団と個の居場所づくり。③世代交代の準備を開始。④昨年の台風15号で経験した断水を教訓に、防災対策と意識の強化。⑤地域発信事業として、映画会の開催や地域イベントへの出店、お店の前で行うミニマルシェなどを掲げました。

地域のみなさまの理解は、仲間たちの生きやすさに直結

地域のみなさまに理解して頂くことは、障害のある仲間たちの生きやすさに直結します。

開設当時よりご協力頂いたみなさまへの感謝とともに、これからもより多くの皆さまと繋がり、理解の輪を広げていけたらと思っています。



映画会のお知らせ

テーマ：多様性を受け入れていく社会とこどもの人権

上映映画 「こども会議」・「チョコレートドーナツ」

—ひとりひとりの思いや意志を大切にするという、大きくも身近なテーマを、一緒に考えませんか—

日時：令和5年6月17日（土）・18日（日）

場所：清水テルサ1階大ホール「海」

時間：両日 10時半～「こども会議」 13時半～「チョコレートドーナツ」

鑑賞料金：各映画とも500円